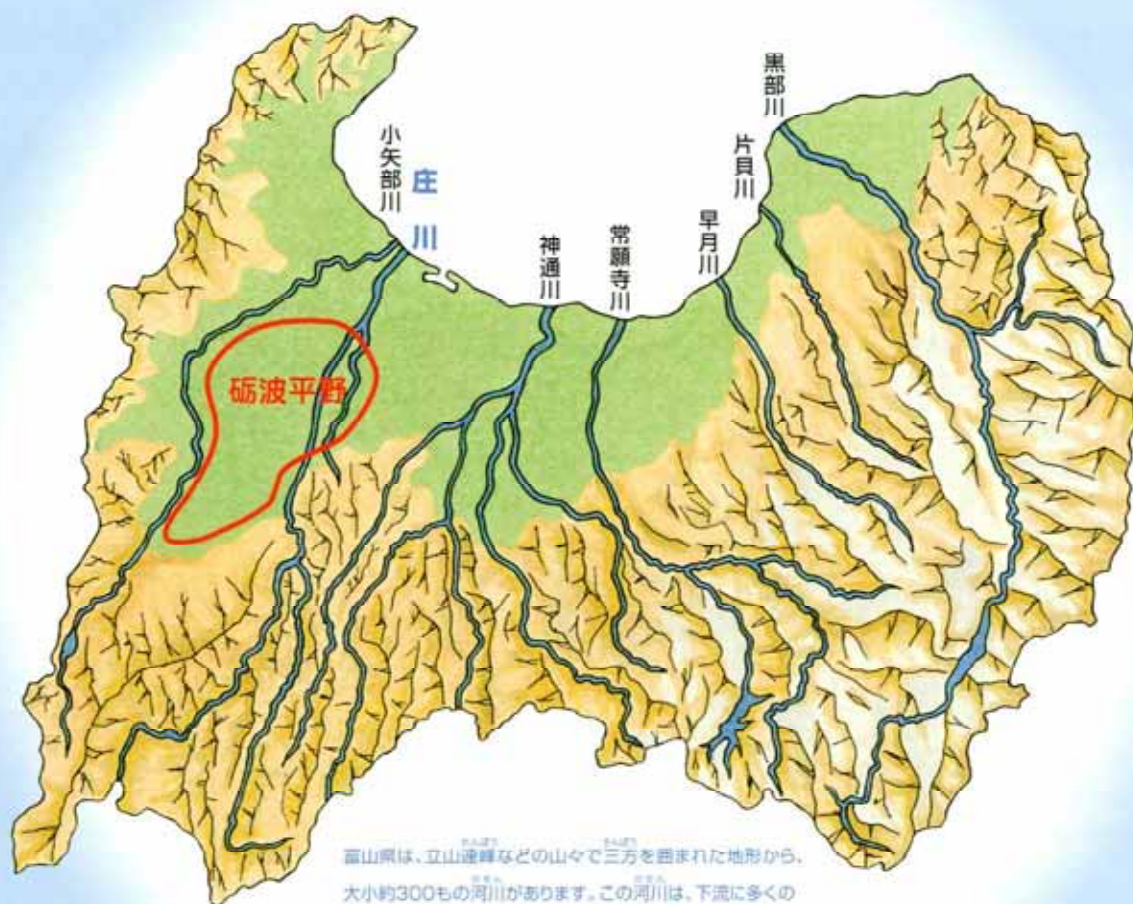


豊かな川 庄川

砺波平野の水



富山県は、立山連峰などの山々で三方を囲まれた地形から、
大小約300もの河川があります。この河川は、下流に多くの
扇状地を形成しました。平野に流れ出た水は、水田をうるお
し、地下にしみこんだ水は豊富な地下水となって、県南部
で地表に湧き出しています。

庄川は富山県の7大河川の一つであり、水の量が多く、とても安定した川ですが、今の
ような姿になるまでにずいぶん長い年月がかかりました。庄川の流のはじまり
は、岐阜県の庄川村にあり、広い山間部の水を集めながら大きな流れとなり富山湾に
そそぎます。その昔、庄川は曲がりくねり、西に東にと流れをかえ、何本にも枝分か
れし、いっばいの土砂を運んできて広い砺波の平野（扇状地）をつくりあげました。

庄川の上流には広い山の部分があり、冬にたくさんの雪が降りつもらいます。夏に
は、緑いっばいの森におおわれるため、一年中水がかかることはありません。

また、きれいで質のよい水は、農業用水のほかに入びとのくらしや産業などにたい
へん役立っています。庄川の上流の山あいには、世界遺産で知られている白川郷
や五箇山合掌集落、平野部には家々が点在する散居村が広がって、ほかでは見られ
ないようなすくえた文化を育みました。また、災害に立ち向かう入びとの努力が
自然と風土を調和させ、今のような豊かな生活の営みを築きあげたのです。



水とともに生きる

庄川は、ずっと昔から人々の暮らしに深くかわりがありました。季節がうつりかわる中で、川と草木、そして多くの生き物たちのおりなす風景は、わたしたちにとって、ふるさとそのものです。恵みの多い庄川と人間は、どんなかわりがあるかを考えてみましょう。

くらしの水

毎日の暮らしには、水は欠かせません。一年中水が流れることがない庄川のおかげで、ゆたかな暮らしができるのです。



きれいな水

砺波平野はきれいな水にめぐまれています。家の前の用水やわき水で、洗いの物もできるところがたくさんあります。

わたしたちが毎日使っている水道水は、庄川の水を取り入れて井波町の松島浄水場でつくられています。

また富山県には、名水とよばれるおいしい水がいっぱいあります。



雪をとかす水

富山県の農業用水は、一年中流れていることが特徴です。冬には、積もった雪をとかすためにも利用されています。



生き物たちの水

川には、いろいろな魚や鳥・虫などが住んでいます。夏にはホタルがとびかうのも、水田の水や小川の水のおかげです。また、富山湾の魚がとておいしく種類が多いのは、緑いっぱいの山から流れてくる冷たい川水のためです。漁業協同組合の人たちは、鮎や鮭がたくさんいる豊かな庄川にするために、毎年鮎や鮭の稚魚を放流しています。



安らぎの水

庭に美しい花園があつたり池があつたりすると、心がなごみます。池には、色とりどりの魚が泳ぎ、すずしげにふきあげるふん水のながめはよいものです。



防火用水

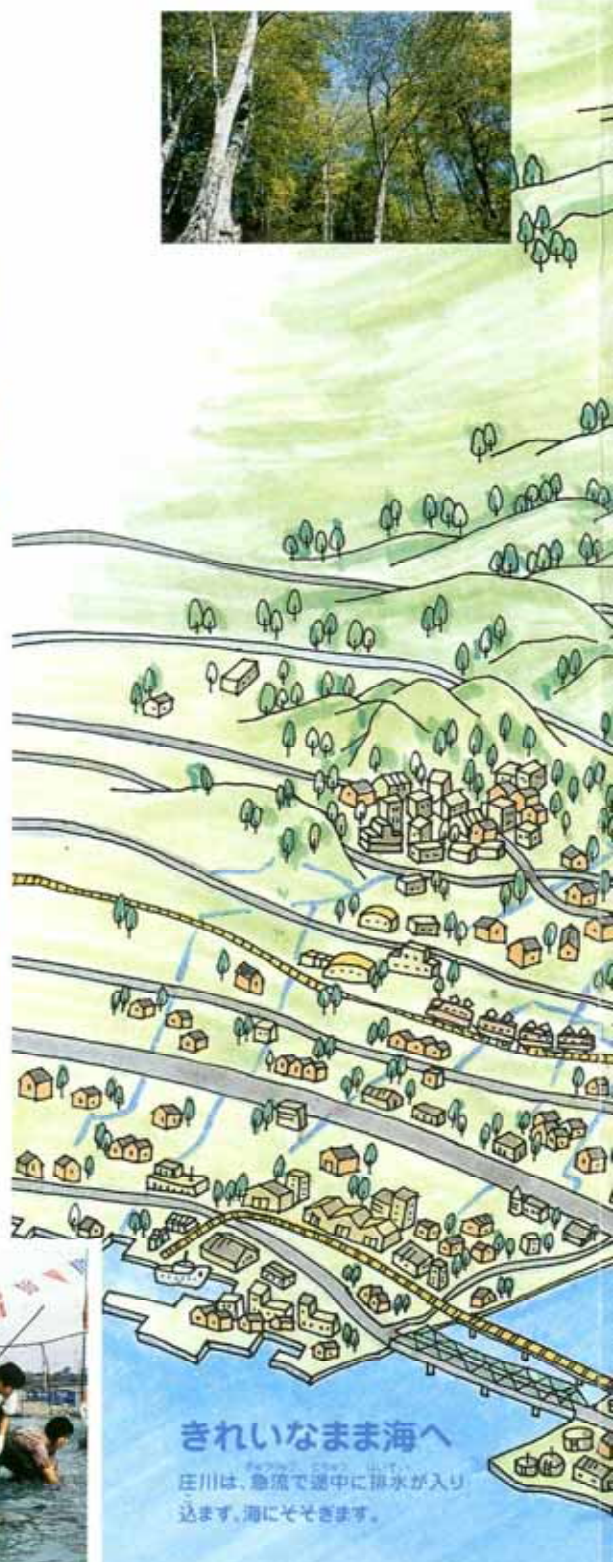
家の近くを流れる用水は、火事が起きたときには、防火用水として利用される大切な水です。



庄川 水の旅

緑のダム

山の緑は水をいっぱいたくわえてくれます。木の幹や根、落ち葉、腐葉土などが水をたくわえ、一気に流れ出さないように調節してくれるのです。だから、雨のない時にも少しづつしみ出して、谷や川の水となって流れがたえません。



きれいなまま海へ

庄川は、急流で途中に排水が入り込まず、海にそそぎます。

寒に降り積もった雪も、春から初夏までたくわえて、なぐさし、お水が必要な出帆えにも安定した水を供給してくれます。

タムの役割

雨や雪の水をたくわえて、家庭で農業用水
水通し生活用水、工業用農業用水とい
うような水として利用するのは、水害を防ぐた
り山を治ったりする役割を果たしています。

庄川から取り入れた水は、あみの目のように張りめぐらされた農業用水路を流れ、農地のすみずみまでゆきわたり、平野全体をうるおし、水田の稲や畑のいろいろな野菜を育ててくれます。



水田から地下へしみこむ水は、よごれ
がとりのぞかれ、きれいな地下水をいっ
ぱいにしてくれます。

豊富な地下水は、いろんなところでわき出し、名水やくらしの水として親しまれ、利用され、ふれあいの場をつくっています。



ダムでたくわえられた水は、水力発電
に利用して再び川にもどされます。庄
川水系で発電された電気は、主に関西
に送電されています。



草や木、小さな虫から大きな動物に
いたるまで、水は命の源です。そして人が
くらしやすい自然の環境をつくっている
のも水なのです。

川は人間だけのものではありません。
美しくゆたかな自然を守り、川と人との
よい関係をずっと続けていきたいものです。



わたしたち一人ひとりが気をつけなければならないことはどんなことだろう？ 考えてみよう！



人びとの努力と苦勞

今、わたしたちが目にする庄川は、多くのダムや立派な堤防がぎずかれ、こう水はほとんど起きないようにになっています。

しかし、1960年頃までの庄川は、雪どけ・つゆ・台風のときなどにたびたびこう水が起こり、人々をなやませました。高い山から流れ下るあばれ川を治め、水をうまく利用できるようにするために、人々の努力と苦勞はたいへんなものでした。



昔の水田

大地を切り開き、たくさんの田畑がつくられました。機械のない昔は、つるはしやシャベルなどを使う人の力だけによる作業でした。このため、水田の大きさや形はさまざまで、用水路も曲がりくねっていました。



水を引く

大きな川の上流にせきを作り、水面を高くして水を取り入れ、あみの目のように小さな用水路に分けて、水田へ水を引きました。また、山腹にそって水路をつけたり、トンネルをほったりしたところもありました。



日照りと水あらい

雨の少ない年には、夏の日照りが続き、水不足がたびたび起こりました。少ない水を取りあって、上流と下流の農家の人たちの水あらいがたえませんでした。



取り入れ口の決壊

大きな川から水を取り入れるには、大きな工事が必要でした。丸太を組み、石をつめたじゃかごを重しに積み上げて、せきを作り、取り入れ口に水を送りました。しかし、こう水になるとせきがこわれ



用水の合口化

安定して水をえるために、9か所の取り入れ口をひとつにまとめる用水の合口化が多くの農家の願いでした。たくさんのお金がかかるほか、多くのむずかしい問題がありましたが、電力会社との共同事業でようやく合口ダムが完成しました。(1943年完成)



浅野総一郎 佐藤助九郎 根尾宗四郎

この人たちは、庄川が今のようになるまでに大きく力をつくした人たちのだよ。
いったいどんなことをした人だったのだろう？
調べてみよう！



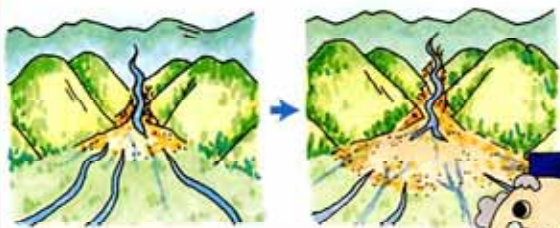
庄川について Q&A



Q. となみへいや せんじょうち
砺波平野は扇状地だけど、
扇状地って何なの？

A.

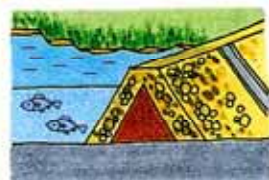
山から水が流れるときに、土砂も流れ、扇の形に平野が広がっていったのだよ。(山の上から見ると扇の形に見えるよ。見てごらん。)



Q. みぼろ
御母衣ダムはロックフィルダムだけど、どんなダムなの？

A.

ロックフィルダムは、岩石と粘土を積み上げたダムのことだよ。御母衣ダムはたくさん水をためたり、必要なときには、その水を流したりして、水を有効に利用しているのだよ。



このダムのおかげで、昔のように稲が枯れることがなくなったのだよ。(1961年完成)

粘土
なんど



ダムは、岩盤が強い時は、コンクリートで作られているよ。

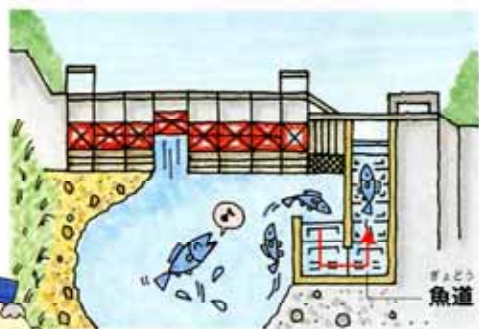
Q.

ダムができると、魚が川をのぼれなくなるね。何か工夫しているの？



A.

ダムが作られると、魚が川をのぼれなくなるとっても困ったのだよ。それで、魚道と呼ばれる魚の通路を作ってのぼれる工夫をしたのだよ。これで魚も安心、安心！



Q.

富山県の川は、天井川と呼ばれているけど、どんな川なの？



A.

富山県の川は、洪水のたびに川底に上流から流れてくる土砂がたまり、まわりの土地より高くなってしまったのだよ。



また、かすみ堤と呼ばれる堤防が、洪水の被害を少なくしているのだよ。



【かすみ堤】大洪水の時に被害を最小限にする工夫だったんだね。ダムの建設や堤防の改修でなくなりつつあるよ。